

2020年度 事業報告



フードバンクしまね「あったか元気便」



2020年度 フードバンクしまね「あったか元気便」事業報告

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活に大きな影響を与え、今までの生活スタイルをコロナ対応型に変更せざるをえない状況となり、だれもが感染防止の取り組みに明け暮れる一年となりました。

また、時間短縮や事業廃止などが顕著に表れた、飲食業やサービス業などに従事している就労者への影響は大きく、「あったか元気便」が対象としている方々にも、今まで以上の厳しい暮らしを迫る状況となりました。

こうした中で、子どもたちの臨時休校に合わせた緊急支援に取り組むとともに、対象校が新たに3校加わり、着実に利用世帯を増やす結果となりました。

また、持続可能な「あったか元気便」の活動を求め、外部の有識者にご参画をいただいた「あり方検討会」を6ヶ月間にわたり開催し、今後の活動の目指すべき方向性を報告書としてまとめました。

関係者・関係団体はもとより、市民・行政・企業等に支えられて取り組んだ活動の細部にわたる報告は、以下の通りです。

1. 相対的貧困や子どもの貧困問題への理解を広め、財源や食品の確保の積極的な展開

1) 貧困問題への理解促進

- ・「あったか元気便だより」を7回発行し、財源確保、フードドライブ、パッキングの取り組み、利用者やボランティアの声を多くの方々に提供しながら、貧困問題への理解や活動への賛同の輪を広く呼びかけました。
- ・ホームページは、活動の大きな動きを情報発信し、フェイスブックでは日常的な動きを取り上げるなど、役割分担しながらタイムリーな活動情報を発信しました。
- ・研修会や学習会など様々な機会に参加して、活動の周知と貧困問題についての啓発に努めました。

地区労福協事務局長会議

BSS 生たまご Bang+
公民館長会青少年育成委員会
松江保健生協新人職員研修会
小松電機産業(株)
古志原小学校フードロス・フードバンク学習会
島根県生活困窮者自立相談支援人材養成研修会

2) 学びの場の提供

あり方検討会の開催スケジュールの一環として、子どもの貧困についての学習会をオープンな形で開きました。

期 日 9月30日(水) 16時より
会 場 JAしまね津田支店 3F 大会議室
テー マ 「島根県子どもの生活に関する実態調査」から考える
講 師 島根大学人間科学部福祉社会コース講師
佐藤 桃子 氏

なお、「第10回地域ケア連携推進フォーラム」は、新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度に引き続き中止しました。

3) 財源の確保

・構成団体を中心とした会費収入ですが、個人の賛助会費が増えつつあります。

正会費 団体	5 団体	250,000 円
個人	3 人	55,000 円
賛助会費 団体	12 団体	240,000 円
個人	11 人	51,000 円

・多くの個人や団体から積極的にカンパ募金にご協力いただきました。

また、今年度より「ソフトバンクつながる募金」の取り組みを開始しました。

個人	51 人	766,375 円
構成団体等	4 団体	1,166,284 円
外部団体	7 団体	86,587 円
イベント時カンパ募金 12か所		67,998 円
ソフトバンクつながる募金		17,102 円

・民間助成金を積極的に活用しました。特に、コロナ禍緊急支援向けの助成金が準備され、緊急対応の財源として活用しました。

コーポ共済地域ささえあい助成	711,479 円
子どもの未来応援基金	1,000,000 円

古志原地区社協	28,000 円
(コロナ対応)	
島根県共同募金会	300,000 円
持続可能な社会貢献活動支援事業費	
	1,000,000 円

4) 食品の確保

今年度から、6月・11月・2月をフードドライブの取り組み期間として定め、関係団体や各種団体、一般企業や公民館など幅広く協力要請を行いました。

また、Amazon「みんなで応援」プログラムを開始し、全国各地から食品が届くことになりました。

・玄米の確保状況(精米含む)

単位: k g

団体名		数量	不良品・廃棄	備考
松江保健生協		1,739		外もち米 12
生協しまね		198		
連合島根		510		
公民館	古志原	14		
	津田	30		
JA	本店	300		
	くにびき地区本部	291		外もち米 25.5
グリーンコープ島根		60		
地域つながりセンター		1,877		外もち米 30
その他				
	なないろ食堂	132		
	Amazon	15		
	明国寺	315		
	その他	150		キワニス 30 邑南社協 120
合計		5,631	108	外もち米 67.5

※ もち玄米 67.5 kg + @ をもちパック加工し、手渡し世帯へ配布。

残については、組織関係者に販売し、活動財源とした。

・レトルト、インスタント麺、缶詰、お菓子などの確保状況

単位: k g

団体名		数量	備考
Amazon「みんなで応援」プログラム		39.2	
地域つながりセンター		236.9	
松江保健生協		157.5	
生協しまね		67.8	
JA	本店	360.0	
	くにびき地区本部	62.2	
県労福協		68.6	
松江キワニスクラブ		90.1	
新日本婦人の会松江支部		16.3	
(株)ヤマサキ		3.4	
津田公民館		113.8	
古志原公民館		138.8	
城北公民館		27.4	
山陰中央新報・あやめの会		27.2	
本田商店		235.2	生パスタ、生そば
井上醤油店		304.0	餅
リコージャパン島根支社		14.4	
松江土建		53.6	
明国寺関連		15.3	
第一生命		24.6	
穴吹グループ		60.0	
県防災備蓄物資		10.0	災害備蓄品
キャパシタ松江		10.7	
社福) 桑友		12.4	パン
授産センターよつば		630.0	災害備蓄品
グリーンコープ島根		157.5	災害備蓄品
島根中酪(株)		195.3	牛乳
ふるさと島根定住財団		8.2	
ジャンボグループ		90.8	お菓子
合計		3,231.2	

- ・不足する食品については、別途補填購入しました。

生協しまねより原価購入した食品	夏 1 約 210 キロ
	夏 2 約 110 キロ
	冬 約 220 キロ
	春 約 120 キロ
	計 約 660 キロ

スーパー・マーケットよりレトルトカレーの購入

約 245 キロ

2. 対象校の拡大と並行し、中長期的な展望の検討

1) 対象校の拡大

古志原小学校・第四中学校・津田小学校に加え、今年度は新たに夏休みから城北小学校、冬休みより中央小学校、春休みから第一中学校の 3 校が加わり、6 校が対象校となりました。

11月 5日 中央小学校校長に面会

11月 16日 第一中学校校長に面会

1月 6日 ノ

【各学校の対象世帯数と利用世帯数】

学校名等	対象世帯	夏利用世帯	対象世帯	冬利用世帯	春利用世帯
古志原小	生保 7 準要 41	35	生保 7 準要 39		
生徒数 636	計 48		計 46		
第四中	生保 5 準要 51	29	生保 6 準要 47		
生徒数 610	計 56		計 53		
津田小	生保 7 準要 70	50	生保 11 準要 88		
生徒数 755	計 77		計 99		
城北小	生保 5 準要 43	18	生保 5 準要 41		
生徒数 546	計 48		計 46		
中央小			生保 3 準要 33		
生徒数 334			計 36		
第一中			生保 10		

生徒数 869			準要 75 計 85		34
民委経由		2		2	2
合 計		134		143	177

※ 利用世帯の約8割は母子家庭

利用者数は、夏461人、冬499人、春614人

2) あり方検討会の開催

試行期間を含めて3年目を迎えるにあたり、対象校の拡大を図りながら、財源・食糧の確保など、一定の安定的な取り組み状況となっていますが、組織の人員不足や高齢化など今後の懸案事項も明らかになりつつあります。

このため、今後の方向性を明らかにするとともに、組織・財源・活動のあり方について議論を深める目的で、外部委員を中心とした「あり方検討会」を設置し、一定の方向性としてまとめた報告書を発刊しました。

【検討委員名簿】

氏 名	所 属 等	備 考
出川 桃子	子育て中の市民	
宮森 健次	松江市立古志原小学校	
春日 邦宣	古志原地区民生児童委員協議会	
高橋 憲二	城北地区社会福祉協議会	
長澤 孝之	津田公民館	
森山 忍	ふるさと島根定住財団地域活動支援課	
岩崎 正志	島根県社会福祉協議会生活支援部	
豊島 俊	松江市社会福祉協議会地域福祉課	
松本 敏和	フードバンクしまね「あったか元気便」	座長
大木 理之	フードバンクしまね「あったか元気便」	副座長
佐藤 桃子	フードバンクしまね「あったか元気便」	

オブザーバー

高木 賢一	松江市福祉部生活福祉課	
青木 佳子	松江市子育て部子育て政策課	

【スケジュール】

第1回 9月30日(水) 15時～ JAしまね津田支店3F大会議室

- | | | |
|-------------|----------|-------------|
| ① 代表あいさつ | ② 委員自己紹介 | ③ 検討会設置要綱説明 |
| ④ 座長・副座長の選出 | | |

- ⑤ 学習会「島根県子どもの生活に関する実態調査」から考える
- ⑥ 意見交換

第2回 10月29日（木）15時～ JAしまね津田支店3F大会議室

- ① あったか元気便の経緯と現状
事業報告・計画、決算・予算、利用者の声、規約等で説明
- ② 意見交換

第3回 11月26日（木）15時～ JAしまね津田支店3F大会議室

- ① 課題の提示 事務局からの資料で説明
- ② 意見交換
- ③ 論点整理 常任運営委員会に投げかける課題、組織内WGで今後議論する課題、あり方検討会で議論を深める課題等に整理
- ④ 意見交換

第4回 1月28日（木）15時～ JAしまね津田支店3F大会議室

- ① 論点整理を踏まえた課題の明確化と提示
- ② 意見交換
- ③ これまでの意見を踏まえた、今後のあり方
- ④ 意見交換

第5回 2月25日（木）15時～ JAしまね津田支店3F大会議室

- ① 今後の方向性の提示
- ② 意見交換

第6回 3月29日（月）15時～ JAしまね津田支店3F大会議室

- ① あり方検討会報告書を提示
- ② 意見交換
- ③ まとめ

3. 地域関係者の協力体制づくりと連携・協働の取り組み

今年より拡大地域となった城北地区や朝日地区へ出向き、「あったか元気便」の活動について協力要請を行い、パッキング作業などへの参加についてもお願いしました。

なお、白潟地区や春休みから拡大となった城西・法吉・生馬地区へは、2021年度に協力要請を進める予定です。

5月11日 城北公民館訪問

5月21日 城北公民館訪問

6月23日 城北地区民生児童委員協議会定例会へ参加

12月16日 朝日公民館訪問

4. 利用家族との交流促進

今年度もクリスマス会などの交流事業を計画する予定でしたが、コロナウイルス感染拡大のリスクを考慮し、中止としました。

なお、農作業や米づくりの取り組みへの準備として、関係団体との話し合いを実施しました。

1月26日 全農林労働組合松江分会訪問

2月18日 連合島根との話し合い

5. 緊急支援

新型コロナウイルス感染拡大は、全国規模のものとなり、地方経済にも大きな影響を与えるました。特に非正規やパート就労の方々や学生のアルバイトなどは、雇止めや就労時間の削減などに直面し、収入の少ない方々の生活困窮は深刻な状況となりました。

また、学校の臨時休業などもあり子どもたちへの影響も心配される状況となり、直前の春休み支援を利用された世帯を対象として、緊急的支援を2回実施しました。

第1回

期 日	2020年5月16日（土） 9:00～10:30
会 場	生協しまね1F駐車場
対象世帯	春休み利用世帯と民生委員経由の1世帯 計 111世帯
梱包内容	各家庭へ米5キロとお菓子やレトルト 全体総重量 約750キロ JAくにびき女性部と県社会福祉士会からの手作りマスク 県社協から緊急小口貸付のチラシ
作 業	関係者を中心としたパッキングボランティア 27名

第2回

島根中酪(株)から、農水省のコロナ関連の制度を活用して「牛乳の無償提供」の申し出があり、本田商店の生そば・社会福祉法人桑友まるベリーから豆乳丸パンの提供、その他ヨーグルトや卵の購入品を合わせ、生鮮食品を手渡しする方法で行いました。

期 日	2020年6月12日（金） 16:00～18:30
場 所	JAしまね津田支店駐車場

対象世帯	第1回の 111 世帯の中から希望の 62 世帯			
食品内容	牛乳	195 キロ	ヨーグルト	39 キロ
	卵	117 キロ	生そば	63 キロ
	豆乳丸パン	12 キロ	長期保存水	31 キロ
			全体総重量	約 457 キロ
			1 世帯	約 7.4 キロ
作業	関係者 13 名で手渡し			

6. パッキング作業等の充実

1) パッキング作業

従来、1会場で集中的に取り組んできましたが、対象校の拡大と新型コロナの感染予防を徹底する必要があり、作業回数を増や時間延長に取り組み、また春休み支援から橋北地区の学校が増えることもあり、橋南1会場と橋北1会場に分散しての作業を試みました。

また、パッキングボランティアの募集も参加者の増を図りましたが、予想以上の応募があり、人数制限をする場面も発生しました。今後は、地域の関係者と全市的な企業や団体の参加人数のバランスを検討する必要があります。

パッキング会場

橋南	いきいきプラザ体育室	(東津田町)
橋北	授産センターよつば 体育館	(打出町)

パッキングボランティアの所属団体等

城北地区社協、くにびき学園健福 29 期、吉志原地区民児協、津田地区民児協第一生命、市議会議員、中国労働金庫松江支店、島根県社会福祉協議会、島根県社会福祉士会、全労済島根推進本部、松江地区労福協、城北地区民児協、松江土建、くにびき学園 FUKU にいさん会、朝日公民館、ふるさと島根定住財団、全農林、島根大学人間科学部学生、連合松江地区協議会、GAGA、こくみん共済 COOP 島根推進本部、中国労働金庫島根県営業本部、大東建託松江支店、おたがいさままつえ・やすぎ、城北公民館、島根県健康福祉部地域福祉課、JA しまね(本店・くにびき地区本部)、生協しまね、松江保健生協、グリーンコープ島根、地域つながりセンター、島根県労福協、島根県立大学生、松徳学院高校学生、大阪健康福祉短期大学松江キャンパス学生、松江南高校学生

その他、団体に所属しない一般市民

	月　　日	時　　間	ボラ・スタッフ	箱詰め数	重　　量

			延べ数		
緊 1	5月 16 日(土)	9:00～10:30	27 人	111 個	約 750 キロ
急 2	6月 12 日(金)	16:00～18:30	13 人	(62 袋)	約 457 キロ
夏 1	7月 21 日(火)	13:00～17:00	45 人	77 個	約 770 キロ
		18:00～20:30	34 人	57 個	約 855 キロ
2	8月 18 日(火)	13:00～17:00	45 人	77 個	約 770 キロ
		18:00～20:30	51 人	57 個	約 855 キロ
冬	12月 21 日(月)	18:00～20:30	55 人	65 個	約 975 キロ
	12月 22 日(火)	18:00～20:30	65 人	78 個	約 780 キロ
春	3月 19 日(金)	13:00～15:30	27 人	54 個	約 645 キロ
	3月 20 日(土)	13:00～17:00	36 人	67 個	約 670 キロ
		18:00～20:30	41 人	56 個	約 840 キロ
合 計			439 人	699 個 (62 袋)	約 8367 キロ

2) 利用世帯への渡し方

手渡し希望の延べ 68 世帯へは、事務局関係者で公民館や公的機関やコンビニなどで、箱に入らなかった食品や野菜、生鮮食品等と一緒に渡しました。

延べ 631 世帯へは、ヤマト運輸(株)松江橋南支店のご協力により、1週間以内に利用世帯へ届けていただきました。

7. 組織の運営

1) 運営委員会

- ・第 1 回運営委員会(合同) 12月 16 日

冬春休み申し込み状況、あり方検討会の進捗状況

- ・第 2 回運営委員会(合同) 3月 16 日

あり方検討会報告書の内容、事務所兼倉庫の賃貸物件、次年度イベント

2) 常任運営委員会

- ・第 1 回常任運営委員会 6月 9 日

緊急支援、総会提出の議案と開催

- ・第 2 回常任運営委員会 7月 14 日

夏休み支援、あり方検討会の設置

- ・第 3 回常任運営委員会 9月 23 日

夏休み支援の振り返り、フードドライブ、あり方検討会

- ・第 4 回常任運営委員会(合同) 12月 16 日

冬春休み申し込み状況、あり方検討会の進捗状況

・第5回常任運営委員会(合同) 3月16日

あり方検討会報告書の内容、事務所兼倉庫の賃貸物件、次年度イベント

3) 事務局会

毎月第1火曜日の午後に定例会を開催し、事務的な作業や企画などについて精力的に取り組みました。